

大会役員

(敬称略・順不同)

名誉会長	大沼 博文						
名誉副会長	菅家 一郎	内田 広之					
会長	渡邊 亮						
副会長	長南 国彦 田中 宏明	松本 善法 檜村 弘	茂木 真治	岩淵 智			
名誉顧問	須佐 喜夫	水野 達雄					
顧問	斎藤 卓夫 服部 樹理 坂本 竜太郎 宮川 えみ子	富田 弘衛 青木 稔 鈴木 智 矢吹 貢一	太田 昌夫 安部 泰男 古市 三久 吉田 英策	大峯 英之 西丸 武進 真山 祐一			
参与	中村 俊之 渡邊 浩志 斎藤 裕昭 佐藤 秀雄 穂本 哲哉	柳沼 英樹 小林 寿宣 酒井 正隆 原田 大輔	渡邊 学 齋藤 文子 櫻田 涉 渡邊 武彦	長南 国彦 阿部 学 荒川 俊一 佐藤 公一			

大会委員

委員長	渡部 秀哉						
副委員長	澤田 匡史	藍原 浩					
委員	斎藤 靖 木村 あさ子 柳沼 誠 澤田 匡史	高田 誠 山寺 清司 渡部 健次 安達 大晃	小林 幸大 安藤 英貴 佐川 栄太 藍原 浩	高橋 健也 影山 高見 馬場 正文			

競 技 運 営 役 員

(敬称略・順不同)

競 技 委 員 長	渡 部 秀 哉				
競 技 副 委 員 長	藍 原 浩				
ド ク タ ー	渡 邊 宣 佳				
N T O	茂 木 真 治				
審 判 長	高 橋 康 幸				
審 判 員	高 橋 康 幸	野 宮 正 城	高 橋 弘 典	鈴 木 重 徳	
	遠 藤 広 大	松 浦 武 暖	横 山 翔 大	船 山 剛 史	
	篠 原 宏 和	遠 藤 さ き	田 畝 佳 也 乃	三 澤 直 人	
	長 谷 部 達 弥				
総 務	藍 原 浩	片 山 聡 一 郎			
健 診	篠 原 宏 和	大 河 原 博 之	小 澤 裕 矢		
計 量	各 校 顧 問	富 澤 佳 祐	鈴 木 寧 生		
式 典	長 谷 沼 徹	鈴 木 猛	村 上 真 統		
放 送	遠 藤 智 秀	菅 原 昌 司	村 上 和 誠		
会場・リング・物品	(福島県ボクシング連盟いわき支部)				
得 点	篠 原 宏 和	(福島県ボクシング連盟いわき支部)			
記 録・報 道	渡 部 秀 哉	(福島県ボクシング連盟いわき支部)			
グ ロー ビ ン グ	齋 藤 真	(福島県ボクシング連盟いわき支部)			
宿 泊・弁 当	鈴 木 栄 順	(福島県ボクシング連盟いわき支部)			
筆 耕	藍 原 浩				

25. ボクシング

1. 期 日 2023年5月26日(金)～5月28日(日)
2. 日 程 第1日目 5月26日(金)
 競技開始(予選) 16:00
 第2日目 5月27日(土)
 種目開会式 10:00
 競技開始(予選) 11:00
 第3日目 5月28日(日)
 競技(3位決定戦・決勝) 10:00
 閉会式 12:30 (競技終了後)
3. 会 場 磐城緑蔭中学・高等学校
 〒970-8025 いわき市平南白土字勝負田11
 TEL 0246(25)6341 FAX 0246(25)6347
4. 競 技 規 定 (1) 本大会は2023年度全国高校ボクシング選手権大会、同東北高校選手権大会の予選会を兼ねる。
 (2) 競技は日本ボクシング連盟競技規則よって行う。
 (3) 得 点 法
 イ. 学校対抗成績順位は、個人入賞者に与えられる得点の合計点数で決定する。
 ロ. 同点の場合は、上位入賞者数の多い学校より成績順位を決定する。
 ハ. 抽選の不戦勝を除いて1勝ごとに勝ち点1点を加点する。
 ニ. 入賞順位の得点は表の通りとする。
- | 入賞順位 | 該当階級の競技者数 | 得 点 数 |
|------|---------------|-------|
| 1 位 | 3 名 以 上 の 場 合 | 3 点 |
| | 2 名 の 場 合 | 2 点 |
| | 1 名 の 場 合 | 1 点 |
| 2 位 | 3 名 以 上 の 場 合 | 2 点 |
| | 2 名 の 場 合 | 1 点 |
| 3 位 | 3 名 以 上 の 場 合 | 1 点 |
- (1) 表 彰
 イ. 個人表彰は各階級3位まで表彰する。
 ロ. 学校表彰は合計得点3位まで表彰する。
5. 競 技 内 容 (1) 個人戦のみとする。
 (2) ピン級よりミドル級までの8階級とする。
6. 競 技 方 法 各階級ともトーナメント方式で競技し、3位は競技によって決定する。
7. 参 加 資 格 (1) 総則8
 (2) 練習開始後1年以上経過した者。
 (3) 片眼視力(裸眼)が0.2以上ない場合は連盟ルールにより出場ができない。
 監督1名、選手、セコンド1名(いずれも年度、登録が済んでいること)
8. 参 加 制 限 (1) 申込締切 2023年5月12日(金)
9. 参 加 申 込 (2) 申 込 先 〒975-0012 南相馬市原町区三島町1丁目65 相馬農業高校内
 渡部 秀哉 宛 TEL 0244-23-5175 FAX 0244-23-1483
10. 監 督 会 議 (1) 組合せ抽選会議
 5月19日(金) 15:00より会場校において組み合わせ抽選会議を実施する。
 (2) 出場選手確認・大会運営に関する会議
 5月19日(金) 15:00より会場校において行う。
11. 健 診 計 量 (出場選手)
 5月26日(金) 第1日目 5月28日(日) 第3日目
 12:50 点 呼(会 場) 7:20 点 呼(宿 舎)
 13:00 健診計量(会 場) 7:30 健診計量(宿 舎)
 5月27日(土) 第2日目
 7:20 点 呼(宿 舎)
 7:30 健診計量(宿 舎)
12. 連 絡 事 項 階級変更は組合せ抽選会議(5/19)まで認めるが、事前に大会事務局校まで連絡すること。

令和5年度福島県高等学校体育大会
ボクシング競技
《 競 技 日 程 》

月日(曜日)	行事内容	場所	時間	備考
5月26日 (金)	健診	渡辺内科胃腸科医院	13:00	
	計量	ボクシング場	14:00	
	会場設営	ボクシング場	14:30	
	競技	ボクシング場	16:00	
5月27日 (土)	健診・計量	宿舎	7:30	平安荘
	種目開会式	ボクシング場	10:00	
	監督・審判会議	ボクシング場	10:20	
	競技	ボクシング場	11:00	
5月28日 (日)	健診・計量	宿舎	7:30	平安荘
	監督・審判会議	ボクシング場	9:00	
	競技	ボクシング場	10:00	
	閉会式	ボクシング場	12:00	
	監督会議(選手選考会)	ボクシング場	閉会式終了後	

式 典	
✿ 開 会 式 役員・選手役員整列 1 開式通告 2 開会宣言 3 歓迎のあいさつ 4 優勝旗返還 5 選手宣誓 6 閉式通告	✿ 閉 会 式 役員・選手役員整列 1 開式通告 2 成績発表 3 団体表彰 4 部長あいさつ 5 閉会宣言 6 閉式通告

ボクシング競技について

ボクシングは、古代オリンピックの種目として行われていた、古い歴史を持つスポーツです。当時すでに成年と少年の2つの部に分けられていました。近代ボクシングは18世紀にイギリスで始まりました。その後、ヨーロッパやアメリカ大陸の各地に伝わります。わが国では、1921年に東京で始まりました。現在AIBA(国際ボクシング協会)の加盟は196か国の地域におよび、世界各国で親しまれているスポーツです。手にグローブをつけ相手と打ち合いますが、激しさや力強さや速さだけが優先するスポーツではありません。正しい練習をすれば誰でも出来るスポーツです。古くからボクシングは、スピードとタイミングの芸術であり、ボクサーはリングの賢者と呼ばれてきました。ボクシング技術での基礎は、攻撃と防御のバランスで成り立っています。競技中は、自己の感情を理性でコントロールする強い意志と決断が必要です。がむしゃらで感情的な動きは、冷静な勇気と技術には通用しません。ピンチに際しては自己統制力、高度な精神集中で耐え抜き、反撃に移ります。アマチュアボクシングは力より機敏な技を、激高することではなく冷静な判断力を学びます。競技終了後は、互いに技術と健闘精神を褒め称え合います。そこでスポーツマンシップが向上し、深い友情で結ばれていきます。青少年の心身の成長に有意義なスポーツ

1 階級 [男子] ※選抜大会は

	階級	体 重	国体		高校選抜 総体	全日本 選手権	オリンピック
			少年	成年			
1	ピン P 級	44 kg超過 4 6kgまで	○	×	○	×	×
2	ライトフライ LF級	46 kg超過 4 9kgまで	○	○	○	○	○
3	フライ F 級	49 kg超過 5 2kgまで	○	○	○	○	○
4	バンタム B 級	52 kg超過 5 6kgまで	○	○	○	○	○
5	ライト L 級	56 kg超過 6 0kgまで	○	○	○	○	○
6	ライトウェルター LW級	60 kg超過 6 4kgまで	○	○	○	○	○
7	ウェルター W 級	64 kg超過 6 9kgまで	○	○	○	○	○
8	ミドル M 級	69 kg超過 7 5kgまで	○	○	○	○	○
9	ライトヘビー LH級	75 kg超過 8 1kgまで	×	○	×	○	○
10	ヘビー H 級	81 kg超過 9 1kgまで	×	×	×	×	○
11	スーパーヘビー SH級	91 kg超過	×	×	×	×	○

[女子] ※選抜大会は3階級(ピン・フライ・ライト)

	階級	体 重	国体		高校選抜	全日本 選手権	オリンピック
			少年	成年			
1	ピン P 級	43 kg超過 4 5kgまで	×	×	○	○Jrのみ	×
2	ライトフライ LF級	45 kg超過 4 8kgまで	×	×	×	○	○
3	フライ F 級	48 kg超過 5 1kgまで	×	○	○	○	○
4	バンタム B 級	51 kg超過 5 4kgまで	×	×	×	○	○
5	フェザー Fe級	54 kg超過 5 7kgまで	×	×	×	○	○
6	ライト L 級	57 kg超過 6 0kgまで	×	×	○	○	○
7	ライトウェルター LW級	60 kg超過 6 4kgまで	×	×	×	○	○
8	ウェルター W 級	64 kg超過 6 9kgまで	×	×	×	○	○
9	ミドル M 級	69 kg超過 7 5kgまで	×	×	×	○	○
10	ライトヘビー LH級	75 kg超過 8 1kgまで	×	×	×	×	○
11	ヘビー H 級	81 kg超過	×	×	×	×	○

2 ラウンド ※ラウンドの間には1分のインターバル(休憩)

成年男子(シニアの部)	3分3ラウンド
少年男子・女子(ジュニアの部)	2分3ラウンド
成年女子(シニアの部)	3分3ラウンド
UJ小学生男子女子	1分30秒3ラウンド
UJ中学生男子女子	2分3ラウンド

※UJの競技時間は主催者により短縮する場合もある。

3 グローブ・ヘッドガード

少年男子(シニアの部)・成年男子(シニアの部)ライトフライ～ライトウェルター	10オンス
UJ(～60kg)・少年成年女子	
成年男子(シニアの部)ウェルター～スーパーヘビー・UJ(64kg～)	12オンス

※ヘッドガードは成年男子(シニアの部)以外は着用する。

4 服装 ※全国大会は自分のコーナー色のユニホームを着用

競技者はスパイクのない踵の低い柔軟なシューズを履き、膝にかからない長さのトランクス、胸と背中を覆うランニングシャツを着用する。グローブの下にバンテージを着用し、カッププロテクターと、赤および赤系統の色を含まないガムシールドを必ず使用する。

5 審判員

リング内で競技を管理する1人のレフリーと採点する5人のジャッジで行う。

6 デピュティスーパーバイザー(

一般社団法人日本ボクシング連盟(以下日連)主催の競技会やその他の競技会にはDSをおく。日連が資格を認定した者で、競技を統括する。

7 採点システム

日連主催の公認競技会ではAIBA採点システム(10ポイントマストシステム)を使用する。この採点システムはラウンドごとに赤・青どちらの競技者が優れているかを判断し、優れている方に必ず10点を与える採点方式である。

8 採点基準 ※採点は優れている競技者に10、劣勢な競技者に9・8・7

- ①ターゲットエリアへの質の高い打撃の数。
- ②技術や戦術の優勢を伴って競技を支配していること。
- ③積極性。
- ④ルール違反をしていないこと。

9 競技の判決

1、WP…ポイント勝ち

- ①競技の終了後に各ジャッジは自分の与えた得点により勝者を決定する。競技の勝者はジャッジの多数決により決定する。
- ②故意でないファウルで負傷があり競技がストップした場合はそれまでの得点で勝者を決定する。
- ③両競技者同時負傷で競技が続けられない場合それまでの得点で勝者が決定される。
- ④1ラウンドの終了後に降にリングの損傷、照明の故障、自然災害、その他予期できない状況などで競技者またはレフリーの責任外で競技ができなくなった場合、それまでの得点で勝者を決定する。
- ⑤決勝戦で両競技者ともKOになった時はそれまでの得点で勝者を決定する。

2、Abandon・ABD…棄権

競技者が負傷等により自発的に棄権するか、セカンドがリング内にタオルを投げ入れるかエプロンに上がり棄権を申し出たときは相手競技者はABD(棄権)勝ちとなる。但し、レフリーのカウント中は棄権することはできない

3、RSC…レフリーストップコンテスト

- ①ラウンド開始のゴングで競技ができない場合は相手競技者のRSC勝ちとなる。
- ②片方の競技者に決定的な差がついている場合や劣勢な競技者が過度な打撃を受けているとレフリーが判断した場合、相手競技者はRSC勝ちとなる。
- ③ダウンの後、競技を続けられないと判断された場合、相手競技者はRSC勝ちとなる。
- ④ロープ後の処置規定による90秒の休憩後に競技を再開できない場合、相手競技者はRSC勝ちとなる。
- ⑤打撃を受けリング外まで叩き出された場合、カウント8の後に手助けなく30秒以内にリングに戻れないときは相手の競技者はRSC勝ちとなる。
- ⑥リングドクターのアドバイスでDSが競技の終了を宣告した場合相手競技者はRSC勝ちとなる。
- ⑦競技中にソフトコンタクトレンズを失い競技者が続行を拒否した場合は、相手競技者がRSC勝ちになる。

4、RSC-I…レフリーストップコンテストインジャリー

- ①競技者が反則でない打撃により負傷して競技続行が不適切とレフリーが判断した場合、相手競技者はRSC-I勝ちとなる。
- ②競技者が脱臼その他の自らの体が原因で競技を続けられない場合相手競技者はRSC-I勝ちとなる。

5、DSQ…失格勝ち

- ①競技者が反則やその他の理由で失格になった場合、相手競技者はDQ勝ちとなる。
- ②意図的な反則により負傷して競技が続行できない場合、その競技者はDQ勝ちとなる。
- ③1競技で3回の警告を受けた場合、その競技者は自動的に失格となる。
- ④故意で悪質な反則で失格となった選手はその競技会における賞状、メダル、ポイント等を一切与えない。選手がスポーツマンらしくない行動により失格となった場合DSは24時間以内に日本連盟資格審査委員会に報告しなくてはならない。

6、KO…ナックアウト勝ち

- ①競技者がダウン後10秒以内に競技ができない場合、相手競技者はKO勝ちとなる。
 - ②レフリーがダウンした選手に異常を感じカウントを省略してリングドクターを呼び入れた場合、相手競技者はKO勝ちとなる。
 - ③両競技者がナックアウトの場合は、両者がKO負けとなる。
- ※決勝戦で両競技者ともKOになった時はそれまでの得点で勝者を決定する。

7、WO…不戦勝

- ①一方の競技者がリング内に登場して相手競技者がアナウンス後、リング内に現れない場合ゴングが鳴らされる。ゴングの後1分間が過ぎてもリングに登場しない場合リングに登場している競技者のWO勝ちとなる。
 - ②競技者が健診や計量で失格になった場合、相手競技者は不戦勝となる。
 - ③DSが事前に一方の競技者が登場しないことが分かっている場合、リングに登場している競技者のWO勝ちとなる。
- ※トーナメントにおいて1度も競技を行わなかった競技者には賞状やメダルを授与しない。

カウントリミット

- ・シニア男子は1ラウンドに3回。ただし1競技でのカウントリミットはない。
- ・シニア女子、ジュニアは1ラウンドに3回。1競技で4回とする。
- ・アンダージュニアは1ラウンドに2回。1競技で2回とする。

10 公認セカンド制度(平成30年度完全施行)

この制度は、単にセカンド行為に限定せず、指導者としての資質向上、倫理的問題(セクハラ、パワハラ等)や医学的、栄養学的、人格形成(スポーツマンシップ、フェアプレイ、人格の尊重、感謝の心等)、科学的トレーニング理論、カテゴリーごとの適切な指導方法などの幅広い角度からボクシングの指導を行うために大変重要なもので、そんな多面的な指導を通してボクシングの指導者の資質向上を図るための制度と考えております。

	全国大会		ブロック大会		都道府県大会	
	サブ	チーフ	サブ	チーフ	サブ	チーフ
A級(20歳以上)		○		○		○
B級(18歳以上)	○	x		○		○
C級(15歳以上)	○	x	○	x		○

暫定処置として全国・ブロック大会開始前に参加届出を提出し、テクニカルミーティングに必ず参加しなければならない。参加したものに限りその大会のチーフセカンドを務めることができることとする。ブロック大会についての資格は満18歳以上の日連登録選手役員、全国大会についての資格は満20歳以上の日連登録役員。

選手名簿 (17名)

	福島明成	福島北	会津工業	相馬農業	学法福島	会津北嶺				計
ピン	佐藤 蒼			武内 風馬						2名
ライトフライ		阿部 拳志		末 文哉						2名
フライ						神崎 烈				1名
バンタム			星野 聖弥							1名
ライト	佐藤 海空		遠藤 羽		山崎 湊					3名
ライトウェルター	鈴木 直弥		村上 裕哉							2名
ウェルター			村岡 空	相良 鼎						2名
ミドル	安齋 颯将 高橋 怜冬		田口 敬斗	東海林七斗						4名
計	5名	1名	5名	4名	1名	1名	0名	0名	0名	17名

令和5年度 福島県高等学校体育大会 ボクシング競技

令和5年5月26日(金)～5月28日(日):磐城緑蔭中学・高等学校

26日 27日 28日

○ピン級(2名)



○ライトフライ級(2名)



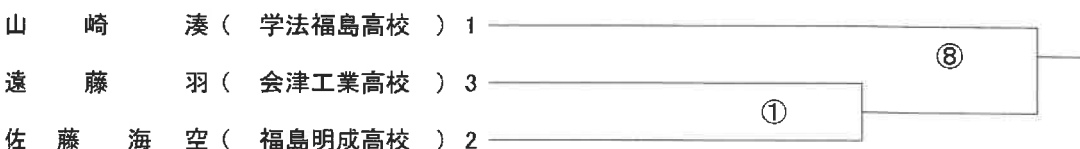
○フライ級(1名)



○バンタム級(1名)



○ライト級(3名)



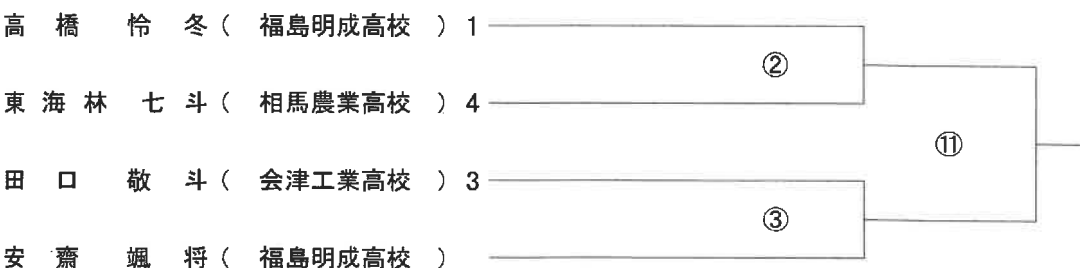
○ライトウェルター級(2名)



○ウェルター級(2名)



○ミドル級(4名)



【 入 賞 者 】

I 部

	一位	二位	三位
ピン級			
ライトフライ級			
フライ級			
バンタム級			
ライト級			
ライトウェルター級			
ウェルター級			
ミドル級			

【 得 点 表 】

	福明	福北	会工	相農	学福	会北			
ピ ン 級									
ライトフライ級									
フ ラ イ 級									
バ ン タ ム 級									
ラ イ ト 級									
ライトウェルター級									
ウ エ ル タ ー 級									
ミ ド ル 級									
合 計									

【 学校対抗成績 】

	学 校 名	得 点	備 考
第1位			
第2位			
第2位			